

2018年度 「聴講生科目一覧」

<学科・専攻名：人間生活学科 生活クリエイション専攻> (担当者は予定)

NO	科目名	担当者	開講時期	授業形態	授業のねらい(内容)
1	医療事務Ⅰ	外部特別講師	前期	演習	<p>医療事務に携わる上で必要な健康保険や診療報酬の基本的な知識と技能などを学び、医療事務技能審査試験(メディカルマーク試験)合格を目指す講座です。医療事務Ⅰ、Ⅱ、Ⅲをセットで履修してください。</p> <p>また、患者様との対応なども大切なので、マナー・接遇などもしっかり身に付けます。</p> <p>※医療事務技能審査試験(メディカルマーク試験)は厚生労働大臣認可の一般社団法人 日本医療教育財団が実施します。</p>
2	医療事務Ⅱ	外部特別講師	前期	演習	
3	医療事務Ⅲ	外部特別講師	9月 第2週 集中 (5日間)	演習	
4	日本国憲法	大久保優也	前期	講義	<p>日本国憲法のなかで、教職において特に必要な分野の基本的な知識を理解してもらうために、条文の意味などについての解説を行います。そのうえで、理解をさらに深めてもらうために、憲法に関する身近な事例や問題を紹介したいと思います。</p>
5	日本文化史	佐藤智広	前期	講義	<p>日本の歴史と文化を学びながら、日本に住む者の精神構造を考える。なぜブログやツイッターが流行るのか、なぜ装飾が好きなのか、といった身の回りのことがどこに根ざしているのかを考え、受講生がそれぞれに自分なりの文化史観を持てるようにする。</p>
6	心理学	本蔵達也	後期	講義	<p>一般的に心理学というと、悩みを抱える人を助けたり、コミュニケーションに役立ったりする印象があります</p>

					が、それらは心理学の一部分であり、実際にはより広いテーマで研究が行われています。本講義では主に身近な現象を心理学で読み解きながら、簡単な実験等を通して考察を深めていきます。
7	文学	佐藤智広	後期	講義	様々なジャンルの文学作品の講読を通して、大学生としての文学に関する基本的な教養を身につける。文学史的な知識だけではなく、作品解釈の姿勢と感受性を高めることに重点を置く。教材としては、現代まで受け継がれた古典作品を中心として、教養を身につけると同時に、自己を高められるようにする。
8	日本語表現	佐藤智広	後期	講義	様々な日本語の表現方法を学び、社会人としてふさわしい日本語表現力を身につける。見落としがちな誤った表現、しゃべりことば、誤字脱字といった基本的なことを習得し、その後、まとまった分量の文章で、自分の考えを述べられるようにする。手紙のような敬体文にも習熟する。
9	科学の世界	蓮沼良一	後期	講義	どのように地球上に生命が誕生したのか。地球誕生から生命の誕生、単細胞生物から多細胞生物、海から陸へ、魚からヒトへ、進化の経路をたどり、人間とはどのような生物なのかを考え、人類の環境との関わりや今後の方向性を考察する。ヒトの発生から老化、脳、遺伝子など人体についての生物学的な知識を学ぶことをねらいとする。
10	国際理解	小関勇次	後期	講義	国際社会に関する基礎的な知識を身につけ、複雑な国際問題を読み解き、自ら考える能力を養います。みなさんは海外へ行く機会もあるでしょ

					うし、日本国内の在留外国人も増加し、外国人と接する機会は増えています。卒業後の職場にも外国人やハーフの子どもたちがいるかもしれません。そうした人たちとうまく意思疎通を図るためにも異文化理解はとても重要です。
11	人間学	大原あゆみ	前期	講義	先人達の思索によって生み出されてきた様々な「ことば」を手がかりとしながら、現代社会に生きる私たちにとって切実なテーマについて丁寧に考察する。その際、哲学的な議論と私たちの身近に生じている諸問題とを密接に関連づけながら、より具体的に考えていきたい。
12	生活学（家庭経営学、家族関係学および家庭経済学を含む）	小野瀬裕子	前期	講義	少子高齢化を背景に複雑に変化する現代社会の中にある私たちの生活を見つめる。家族、女性、経済、消費、ライフコースなどの課題を取り上げ、生き生きした生を全うするために必要な生活を営む力を身に付ける。
13	食生活論（食品学・栄養学を含む）	前田文子	前期	講義	日本の食生活について、歴史的・文化的な背景や社会的な視点から捉えるとともに、世界の食糧事情とその中での日本のあり方、環境問題と食生活の関連を知り、望ましい食生活について考える。さらにこれからの食生活の課題を知り、問題解決に向けての取り組みを考える。
14	衣生活論	佐々木由美子	後期	講義	本講座は、衣生活全般にわたり、自然科学的及び社会科学的の両側面から総合科学的な衣生活を考える学問である。生活の中での実際的な内容を中心に据えることで、日常をテーマに衣生活を見直し、さらに時代の

					現状を把握し、自立した賢い生活者を育成することをねらいとする。
15	消費経済論	前田文子	後期	講義	我が国の食品の消費と流通の実態を理解し、より円滑な食品流通を考えるとともに、消費者がよりよい食品選択を行う術を会得するための基本的な考え方を学ぶ。また、各種統計資料から食品流通の変遷を読み取り、その変化の要因を知ることにより、今後の食品消費の予測も行う。さらに、近年のグリーンマーケティングやロジスティックの意味を知り、望ましい消費と流通の在り方を考える。
16	テキスタイル学	川田江美	前期	講義	本講座では、被服を素材面から捉え、被服のもつ自然科学的なものの見方や考え方を学ぶ。特に被服材料の構成単位である、糸・織物・編み物等を中心に、その種類や特徴を学んでいくとともに、被服の着用目的を明確にし、被服・アパレル製品の材料として考える。
17	ファブリックケア論	板垣昌子	後期	講義	衣服は、汚れを取り、形を整えるための洗濯が不可欠である。衣服は、着用・洗濯などの消費過程において外部からさまざまな物理化学的刺激を受けることになる。そうした衣服をどのようにしたら美しく長持ちさせ、初期の性能を変化させずに管理できるのか概説する。
18	服飾造形論	佐々木由美子	前期	講義	高度化、多様化するアパレル生産について、素材物性、体型情報、デザイン、パターン、縫製技術を分析し、基本的技術を修得する。パターンメイキングについては、平面製図と併せて立体裁断の違いを理解し、かつ、基本的なデザインを、パ

					ターン化できる力を養う。
19	健康栄養学	前田文子	後期	講義	<p>栄養素は私たちが生きていくためのエネルギーとなり、体を構成する成分にもなる。食品に含まれる栄養素と、それが人体内でどのような働きをするか、消化や代謝の仕組みなどについて理解する。また、ライフステージや健康と栄養素との関わりについて理解し、生活に役立てる。</p>
20	調理学	前田文子	前期	講義	<p>調理学とは調理過程における食品の変化を知り、嗜好的にも栄養的にもよりよい状態になるように制御するための学問である。それぞれの調理操作の意味を知り、それを実際の調理の活かすことができるよう理解を深めていく。食品の変化だけでなく、調理器具や調理のエネルギーについても学習し、よりよい調理方法を選択できるようにする。</p>
21	応用食品学	伊藤僚子	前期	講義	<p>食生活の多様化により様々な食品が市場に出回っているが、フードコーディネーターは食の専門家として、これらの食品の知識と利用方法を身につける必要がある。本講義では、食品の種類・機能・成分及び加工・調理・保存による食品の変化や機能性食品の素材・種類についても学習する。</p>
22	健康衛生論	伊藤僚子	前期	講義	<p>食中毒・異物の混入・遺伝子組換え食品・狂牛病・残留農薬・偽装表示など、多くの問題が食品の安全性を揺るがしている。食の安全にかかわる危険要因及びそれらに対する安全管理の手段を学ぶ。</p>

2018年度 「聴講生科目一覧」

<学科・専攻名：人間生活学科 こども発達専攻>

(担当者は予定)

NO	科目名	担当者	開講時期	授業形態	授業のねらい(内容)
1	心理学	本蔵達也	後期	講義	一般的に心理学というと、悩みを抱える人を助けたり、コミュニケーションに役立ったりする印象がありますが、それらは心理学の一部であり、実際にはより広いテーマで研究が行われています。本講義では主に身近な現象を心理学で読み解きながら、簡単な実験等を通して考察を深めていきます。
2	日本語表現	佐藤智広	前期	講義	様々な日本語の表現方法を学び、社会人としてふさわしい日本語表現力を身につける。見落としがちな誤った表現、しゃべりことば、誤字脱字といった基本的なことを習得し、その後、まとまった分量の文章で、自分の考えを述べられるようにする。手紙のような敬体文にも習熟する。
3	科学の世界	蓮沼良一	後期	講義	どのように地球上に生命が誕生したのか。地球誕生から生命の誕生、単細胞生物から多細胞生物、海から陸へ、魚からヒトへ、進化の経路をたどり、人間とはどのような生物なのかを考え、人類の環境との関わりや今後の方向性を考察する。ヒトの発生から老化、脳、遺伝子など人体についての生物学的な知識を学ぶことをねらいとする。

4	人間学	大原あゆみ	前期	講義	先人達の思索によって生み出されてきた様々な「ことば」を手がかりとしながら、現代社会に生きる私たちにとって切実なテーマについて丁寧に考察する。その際、哲学的な議論と私たちの身近に生じている諸問題とを密接に関連づけながら、より具体的に考えていきたい。
5	保育の心理学 I	本蔵達矢	後期	講義	子ども一人ひとりの行動や心の動きはそれぞれ異なるが、共通する部分もある。「保育の心理学 I」では、そうした子どもの行動や心の動きの中にある共通した部分を学ぶことがねらいである。この授業においては、子どもに共通した行動や心の動き、行動の見取り方について講義する。
6	保育原理	中川秋美	前期	講義	子どもがかわいい、それだけでは専門家として保育をすることはできない。本授業では、保育と何かについて学ぶ。保育に関わる法律や歴史、実際の保育現場での取り組みなど、保育の専門家として必要な知識と考え方について講義する。
7	社会的養護	中川秋美	前期	講義	昨今では、家庭の養護機能が衰え、社会的養護に依存せざるを得ない場合が増えている。本授業では、社会的養護の意義、歴史的変遷、法制度、実施体制を知り、社会的養護の原理と施設養護などの実際を理解することをねらいとする。
8	児童家庭福祉	松野 真	後期	講義	児童家庭福祉とは子どもと家庭に関する幅広い課題に、住民と専門職、関係機関が連携し、法律や制度などの社会資源を活用しながら取

					り組む、すべての子どもの最善の利益を護るための実践である。その意義と歴史、現状と課題、制度や実施体系、人権擁護、動向や展望について学習する。
9	社会福祉	長渕晃二	前期	講義	保育士・社会福祉専門職として必要となる社会福祉の基本的視点および知識を身につける。社会福祉の歴史、方法、法制度などの学習を通じ、現代社会における社会福祉の仕組み、意義、社会福祉専門職の役割・機能等について理解する。
10	発達と健康	伊坪有紀子	前期	演習	少子化時代を迎え、より大切になっている子どもたちだが、子どもを取り巻く様々な問題が起きている。子どもの健やかな成長にとって必要となる健康的な生活や発育発達に対する知識を得て、受講者が主体となって、子どもを取り巻く諸問題について考察し、発表・討論を行い、今後の課題を探る。
11	保育内容：健康	伊坪有紀子	後期	演習	子どもが子どもらしい健やかな生活をおくるため、健康的な習慣や態度を身につけることが望ましい。乳幼児における健康の基礎知識を学ぶとともに、保育者はどのように子どもの健康をとらえ、援助していくことができるのかを学び、保育の現場で実践できる知識と考え方を学ぶ。

2018年度 「聴講生科目一覧」

<学科・専攻名：ヘルスケア栄養学科>

(担当者は予定)

NO	科目名	担当者	開講時期	授業形態	授業のねらい(内容)
1	科学の世界	蓮沼良一	前期	講義	生命はどのように誕生し、子孫へと連続してきたのか、人体を構成する細胞と、食べ物がどのように生命を維持しているのかなどについて学ぶ。さらに、ヒトの健康にかかわる微生物や、放射能や放射線について学ぶことをねらいとする。ビジュアルな資料を活用して授業を行なう。
2	いのちの倫理	國香 清	前期	講義	妊娠経過、体外受精の方法と費用、中絶、性感染症の症状と治療など命を育む年代に必要な知識、与えられた命をより健康に過ごす予防医学や食事療法、機械による延命措置や尊厳死の是非など、病院勤務の経験に基づいた講義により、命の重みを理解し如何に生きるべきかを考える。
3	微生物学	蓮沼良一	後期	講義	微生物が人間の生活にどのように関わっているかを知る。発酵食品をつくる有用なカビや細菌、人間に病気をおこす微生物などを学ぶ。食品衛生学や公衆衛生学とも密接に関係する、かび毒、細菌性およびウイルス性食中毒、新興・再興感染症、人獣共通感染症などについても解説する。
4	健康科学概論	國香 清	後期	講義	人生において最も大切なものは、自分と家族の健康。 健康を維持するために必要な基礎知識を身につけ、さらに周囲の人も健康にするための方策について考える。